

裏磐梯の来訪者の特性把握に向けた試行的調査の結果

川崎興太（福島大学・共生システム理工学類）・
三部和哉（福島大学大学院・共生システム理工学研究科）

要 旨

本稿は、平成 25 年 6 月 1 日から 11 月 30 日までの半年間における裏磐梯の来訪者の特性を把握するための試行的な調査の結果を整理したものである。裏磐梯への来訪目的は「観光」が 6 割で「エコツーリズム」が 1 割を占めること、来訪者の年齢は「40 代」以上が 6 割を占めること、来訪者の性別は「男性」が 4 割で「女性」が 6 割であること、来訪者の居住地は「関東地方」が 5 割で「福島県内」が 3 割を占めること、裏磐梯への来訪回数は「4 回目以上」が 5 割を占めること、裏磐梯への旅行形態は「個人旅行」が 6 割を占めること、同行者の種類は「家族」が 5 割を占めること、同行者は「2 人」と「3～5 人」がそれぞれ 3 割を占めること、裏磐梯への交通手段は「自家用車」が 6 割を占めること、裏磐梯での宿泊の有無は「宿泊あり」と「宿泊なし」がそれぞれ 5 割を占めること、裏磐梯に関する情報の入手方法は「インターネット」と「パンフレット・ガイドブック」がそれぞれ 3 割弱を占めること、裏磐梯での消費額は平均でツアー代金が 4,359 円、宿泊費が 9,405 円、食事代が 1,815 円、お土産代が 1,624 円、交通費が 3,648 円、観光活動費が 418 円、その他が 172 円であること、裏磐梯の改善すべき点は公共交通の利便性の向上、廃屋対策の推進、商業環境の充実、バリアフリー化の推進、トイレの改善などであることが示されている。

I. 調査の背景と目的

ある地域の構想や計画を作成し、そして、それらの目標の実現に向けた施策の実施および評価・見直しを行うにあたっては、まずその地域の実態を調査することが必要である。指定統計など、既存の調査がある場合には、その結果を活用することができるが、観光については地域の実態を詳しく知りうるものは存在しない。これは、裏磐梯のような観光がまちの重要な構成要素となっている地域では、大変困ったことである。

もっとも、その観光に関しても、既存の調査が全く存在しないかといえば、そうではない。例えば、福島県は毎年「福島県観光客入込状況調査」を公表しており、これによって県内観光地の観光客入込数を知ることができる。裏磐梯の場合、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき⁽¹⁾、磐梯高原、雄国沼、ラビスパ裏磐梯、磐梯山、裏磐梯スキー場、グランデコスノ

ーリゾート、道の駅裏磐梯が集計の対象地点とされており、これらの地点の観光客入込数を経年的に把握することが可能である（川崎, 2012）。ちなみに、「磐梯高原」については、裏磐梯ビジターセンター、裏磐梯サイトステーション、磐梯山ゴールドライン、磐梯吾妻レークラインが集計の対象地点とされており、これらの地点の観光客入込数の合計値が示されている。

しかし、この調査の弱点は、観光客入込数しか把握できないところにあり、観光客の性別や年齢をはじめ、その他のことは全く分からない。厳密に言えば、少なくとも福島県の場合、観光客入込状況調査とあわせて、上記の共通基準に従って「観光地点パラメータ調査」と呼ばれるサンプル調査がヒアリング形式で実施されており、これによって観光入込客の属性別の構成比、平均訪問地点数、観光消費額単価等が把握されているのであるが、調査対象となっている観光地点を含めて、

一切公表されていないというのが実情である。

こうした背景のもとに、筆者らは、裏磐梯の来訪者の特性を把握するため、平成 25 年 5 月 30 日から来訪者に対するアンケート調査を試行的に実施している。本稿は、同年 6 月 1 日から 11 月 30 日までの半年間におけるこのアンケート調査の結果を整理したものであり、今後、裏磐梯において、総合的かつ計画的にまちづくりを進める上での基礎資料を得ることを目的とするものである。

II. 調査の方法

裏磐梯の来訪者に対するアンケート調査票は、A4 版の用紙の両面 1 枚で構成し、年齢、性別、居住地、同行者数、来訪手段、来訪目的、宿泊の有無、消費額など、全部で 14 項目の質問を設定した（図 1、図 2、図 3）。

このアンケート調査票を、裏磐梯ビジターセンターと裏磐梯サイトステーションの管理者から許可を得て、それぞれの施設の管理に支障が出ず、かつ、来訪者の動線を考慮して比較的目的につきやすい館内のテーブルの上に、平成 25 年 5 月 30 日に設置した（写真 1、写真 2、図 4）。そして、それぞれの施設の来訪者に任意でアンケート調査に回答してもらい、すぐ隣に設置した回収箱に投函してもらうことで回収するものとした。設置場所として、裏磐梯ビジターセンターと裏磐梯サイトステーションを選定したのは、裏磐梯の来訪者が立ち寄ることが多いと考えられたこと、特に筆者らが継続的に実施しているエコツーリズムの参加者が立ち寄ることが多いと考えられたこと（三部・川崎, 2013）、屋内での設置・回答が可能であること、公共施設であるために設置許可が得られやすいと考えられたことなどによる。

両施設の来館者数は、福島第一原子力発電所事故の影響もあって、最近の 10 年間の推移を見ると減少傾向にあるが（図 5、図 6）、「福島県観光客入込状況調査（平成 24 年分）」によると、平成

24 年の裏磐梯全体の観光客入込数は 3,010,633 人であり、同年の裏磐梯ビジターセンターと裏磐梯サイトステーションの観光客入込数は、それぞれ 69,935 人、22,408 人で、合計は 92,343 人であるので、それぞれの裏磐梯全体の観光客入込数に占める割合は、2.3%、0.7%、3.1%である（表 1）。また、本稿の対象期間は、先述の通り、平成 25 年 6 月 1 日から 11 月 30 日までの半年間であるが、この半年間における来館者数の割合は、最近の 10 年間では、ほぼ 7~8 割で変わっていない。

1. あなたの年齢は？【選択式】
2. あなたの性別は？【選択式】
3. あなたの居住地は？【選択式】
4. 裏磐梯に来たのは何回目ですか？【選択式】
5. 今回、裏磐梯には個人旅行で来ましたか？
団体旅行で来ましたか？【選択式】
6. 誰と来ましたか？【選択式】
7. 何人で来ましたか？【選択式】
8. どうやって来ましたか？【選択式】
9. 裏磐梯に宿泊しますか？【選択式】
10. 裏磐梯に来た目的は？【選択式】
11. 上記質問において「観光」と回答された方に聞きます。どのような観光ですか？
【選択式】
12. 裏磐梯の情報をどうやって入手しましたか？【選択式／複数回答】
13. 今回、裏磐梯で、お金をいくら使いましたか、または、使うことが見込まれますか？
だいたい金額で結構ですので、記入してください。【記述式】
14. 裏磐梯について、ここがよくない、あるいは、もっとこうすればよいなど、ご意見やお考えがありましたら、お書きください。【記述式】

図 1 アンケート調査の質問項目

回答日：平成 年 月 日

裏磐梯来訪者アンケート調査票

1. あなたの年齢は？

1. 10代未満 2. 10代 3. 20代 4. 30代 5. 40代 6. 50代
7. 60代 8. 70代 9. 80代以上

2. あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

3. あなたの居住地は？

1. 福島県内 2. 関東地方 3. その他の国内の地域 4. 日本国外

4. 裏磐梯に来たのは何回目ですか？

1. はじめて 2. 2～3回目 3. 4回目以上

5. 今回、裏磐梯には個人旅行で来ましたか？ 団体旅行で来ましたか？

1. 個人旅行（団体旅行以外の旅行） 2. 団体旅行 3. 旅行以外の目的で来た

6. 誰と来ましたか？

1. 自分だけ 2. 家族 3. 友人・知人 4. その他（ ）

7. 何人で来ましたか？

1. 1人 2. 2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上

8. どうやって来ましたか？

1. 自家用車 2. 貸切バス 3. その他（ ）

9. 裏磐梯に宿泊しますか？

1. 宿泊する、または、宿泊した 2. 宿泊しない

裏面もご回答をお願いします

図 2 アンケート調査票（表）

10. 裏磐梯に来た目的は？

1. 観光 2. その他（ ）

11. 上記質問において「観光」と回答された方に関きます。どのような観光ですか？

1. エコツーリズム 2. その他の観光

12. 裏磐梯の情報をどうやって入手しましたか？

1. 友人・知人 2. 家族 3. インターネット 4. パンフレット・ガイドブック
5. その他（ ） 6. 特になし

13. 今回、裏磐梯で、お金をいくら使いましたか、または、使うことが見込まれますか？
だいたいの金額で結構ですので、記入してください。

ツアー代金 ※ツアー参加者は、下記の項目は、ツアー代金以外に使った、または、使うことが見込まれる金額を書いてください。	円
宿泊費	円
食事代	円
お土産代	円
交通費	円
観光活動費（施設入場料や利用料など）	円
その他（ ）	円

14. 裏磐梯について、ここがよいくない、あるいは、もっとこうすればよいなど、ご意見や
考えがありましたら、お書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。この調査票を回収箱の中に投函してください。

図 3 アンケート調査票（裏）

写真 1 裏磐梯ビジターセンターに設置した
アンケート調査票と回収箱

写真 2 裏磐梯サイトステーションに設置した
アンケート調査票と回収箱

表 1 裏磐梯全体に占める裏磐梯ビジターセ
ンターと裏磐梯サイトステーションの
観光客入込数の割合（平成 24 年）

裏磐梯における集計対象地点		観光客入込数	
合計		3,010,633	100.0%
磐梯高原		2,398,421	79.7%
	うち、裏磐梯ビジターセンター	69,935	2.3%
	うち、裏磐梯サイトステーション	22,408	0.7%
雄国沼		56,007	1.9%
ラビスバ裏磐梯		61,480	2.0%
磐梯山		53,553	1.8%
裏磐梯スキー場		17,663	0.6%
裏磐梯猫魔スキー場		60,404	2.0%
グランデコスノーリゾート		157,840	5.2%
道の駅裏磐梯		205,265	6.8%

資料：福島県観光客入込状況調査（平成24年分）、裏磐
梯ビジターセンターと裏磐梯サイトステーションか
ら提供を受けた資料

189

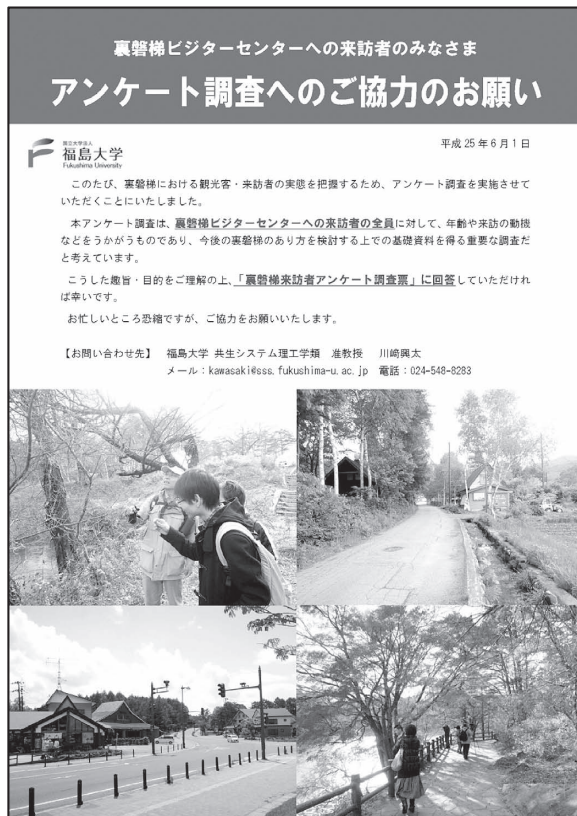
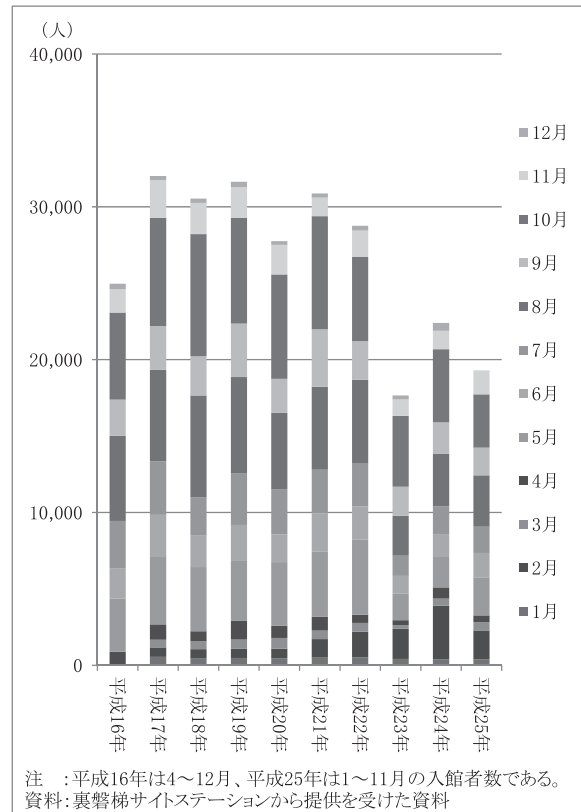
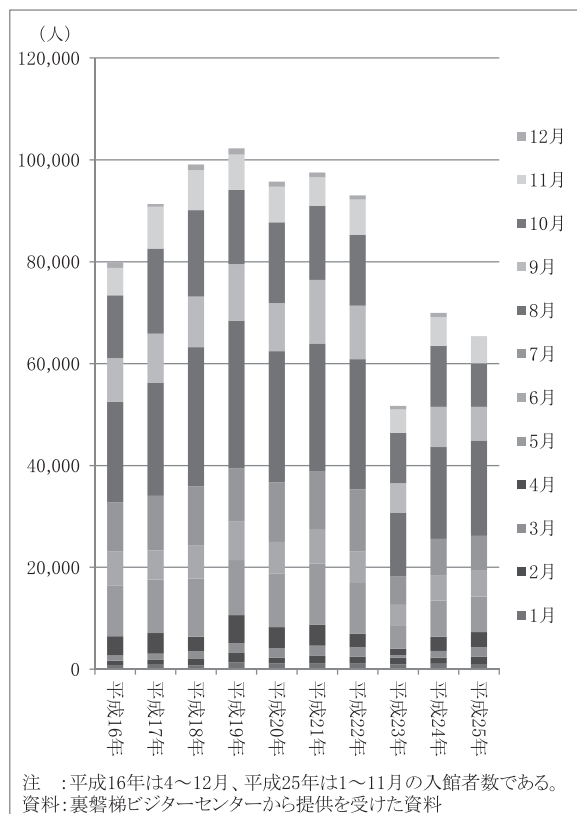


図4 アンケート調査への協力の依頼文

図6 裏磐梯サイトステーションの
来館者数の推移図5 裏磐梯ビジターセンターの
来館者数の推移

III. 調査の結果

1. アンケート調査の回収数

平成25年6月1日から11月30日までの半年間において、裏磐梯ビジターセンターでは81件、裏磐梯サイトステーションでは120件、合計で201件のアンケート調査票を回収することができた(表2)。

ちなみに、同期間における来館者数は、裏磐梯ビジターセンターでは51,119人、裏磐梯サイトステーションでは13,546人、合計で64,665人であるので、仮にこれらを母数としてアンケート調査票の回収率を算出するならば、それぞれ0.2%、0.9%、0.3%である。

2. 裏磐梯への来訪目的

裏磐梯への来訪目的については、「観光」が117人で58%、「観光以外」が64人で32%、無回答が20人で10%である(表3、図7)。

表 2 来館者数とアンケート調査票の回収数

		平成25年							
		合計	6月	7月	8月	9月	10月	11月	不明
裏磐梯の観光客入込数(人)		2,060,316	170,227	287,177	392,632	212,000	676,512	321,768	—
来館者数 (人)	合計	64,665	6,641	8,570	22,121	8,387	12,035	6,911	—
	裏磐梯ビジターセンター	51,119	5,042	6,853	18,759	6,579	8,541	5,345	—
	裏磐梯サイトステーション	13,546	1,599	1,717	3,362	1,808	3,494	1,566	—
アンケート調査票の 回収数(件)	合計	201	37	19	41	24	37	23	20
	裏磐梯ビジターセンター	81	22	8	6	13	14	8	10
	裏磐梯サイトステーション	120	15	11	35	11	23	15	10
来館者数に対するアン ケート調査票の回収数 の割合	合計	0.3%	0.6%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	—
	裏磐梯ビジターセンター	0.2%	0.4%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	—
	裏磐梯サイトステーション	0.9%	0.9%	0.6%	1.0%	0.6%	0.7%	1.0%	—

資料:裏磐梯の観光客入込数は、「福島県観光客入込状況調査」の裏磐梯における集計対象地点である磐梯高原、雄国沼、ラピスバ裏磐梯、磐梯山、裏磐梯スキー場、グランデコスノーリゾート、道の駅裏磐梯の入込数の合計値であり、北塩原村から提供を受けたものである。「来館者数」は、裏磐梯ビジターセンターと裏磐梯サイトステーションから提供を受けたものである。

「観光」の内訳をみると、「エコツーリズム」が20人で10%、「その他の観光」が97人で48%である。「観光以外」の来訪目的は多様であるが、トレッキングや学校の授業などが多い。

以下では、「エコツーリズム」、「その他の観光」、「観光以外」、「無回答」に分けて、調査の結果を示す。

表 3 裏磐梯への来訪目的

	合計	6月	7月	8月	9月	10月	11月	不明
合計	201 100%	37 18%	19 9%	41 20%	24 12%	37 18%	23 11%	20 10%
観光	117 58%	15 7%	16 8%	28 14%	15 7%	21 10%	11 5%	11 5%
エコツーリズム	20 10%	2 1%	6 3%	3 1%	0 0%	3 1%	3 1%	3 1%
その他の観光	97 48%	13 6%	10 5%	25 12%	15 7%	18 9%	8 4%	8 4%
観光以外	64 32%	19 9%	0 0%	12 6%	7 3%	13 6%	7 3%	6 3%
無回答	20 10%	3 1%	3 1%	1 0%	2 1%	3 1%	5 2%	3 1%

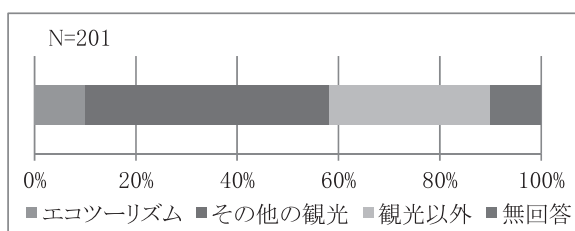


図 7 裏磐梯への来訪目的

3. 来訪者の年齢

来訪者の年齢については、全体では、「60代」が43人で21%、「10代」が30人で15%、「40代」が27人で13%であり、「40代」以上の中高年層が120人で60%である（図8）。

しかし、来訪者の年齢は、来訪目的によって異なっている。即ち、エコツーリズムでは「60代」が9人で45%、「60代」以上が11人で55%であるのに対して、その他の観光では「40代」が20人で21%、「60代」が18人で19%、観光以外では「60代」が12人で19%、「10代」が11人で17%となっている。

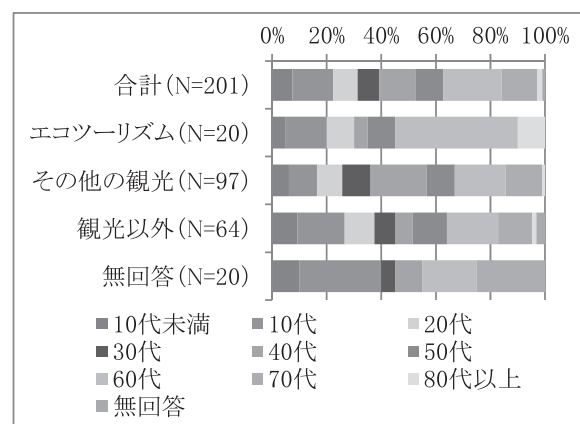


図 8 来訪者の年齢

4. 来訪者の性別

来訪者の性別については、全体では、「男性」

が 78 人で 39%, 「女性」が 121 人で 60%, 無回答が 2 人で 1%である (図 9)。

しかし, 来訪者の性別は, 来訪目的によって少し異なっている。即ち, エコツアーリズムとその他の観光では「女性」がそれぞれ 13 人で 65%, 64 人で 66%であるのに対して, 観光以外では「女性」が 35 人で 55%であるかわりに, 「男性」が 27 人で 42%となっている。

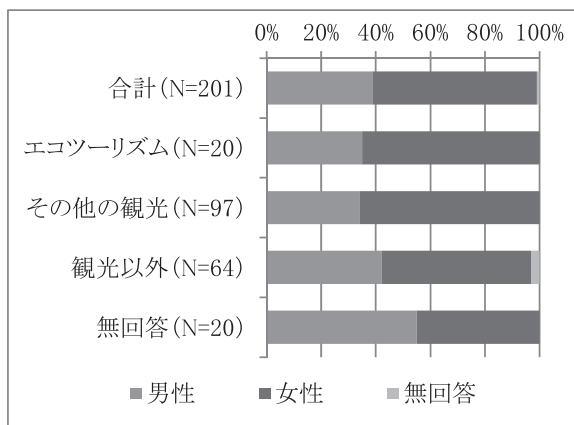


図 9 来訪者の性別

5. 来訪者の居住地

来訪者の居住地については, 全体では, 「関東地方」が 97 人で 48%, 「福島県内」が 67 人で 33%で, 両者の合計は 164 人で 82%である (図 10)。また, 「その他の国内の地域」が 34 人で 17%, 「日本国外」が 2 人で 1%, 無回答が 1 人で 0.5%である。

しかし, 来訪者の居住地は, 来訪目的によって異なっている。即ち, いずれの来訪目的についても, 「関東地方」と「福島県内」の合計が 7~9 割を占めていることに変わりはないが, 両者の割合は異なっており, エコツアーリズムでは「福島県内」が 10 人で 50%, 「関東地方」が 7 人で 35%であるのに対して, その他の観光では「福島県内」が 24 人で 25%であるかわりに, 「関東地方」が 50 人で 52%, 観光以外では「関東地方」が 31 人で 48%, 「福島県内」が 26 人で 41%となっている。

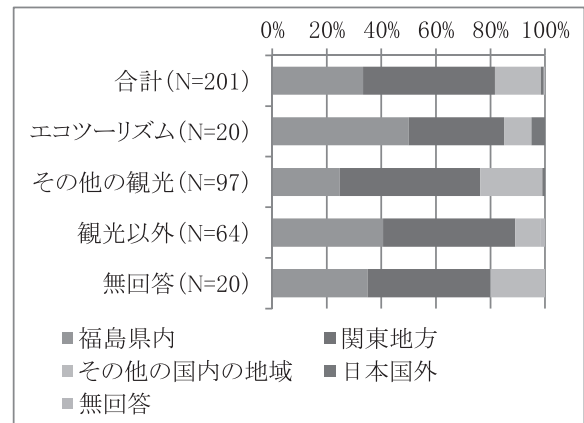


図 10 来訪者の居住地

6. 裏磐梯への来訪回数

裏磐梯への来訪回数については, 全体では, 「4 回目以上」が 95 人で 47%, 「はじめて」が 61 人で 30%, 「2~3 回目」が 44 人で 22%, 無回答が 1 人で 0.5%である (図 11)。

しかし, 裏磐梯への来訪回数は, 来訪目的によって異なっている。即ち, エコツアーリズムでは「4 回目以上」が 9 人で 45%, 「はじめて」が 6 人で 30%, その他の観光では「はじめて」と「4 回目以上」が 39 人で 40%であるのに対して, 観光以外では「はじめて」が 20%であるかわりに, 「4 回目以上」が 40 人で 63%となっている。

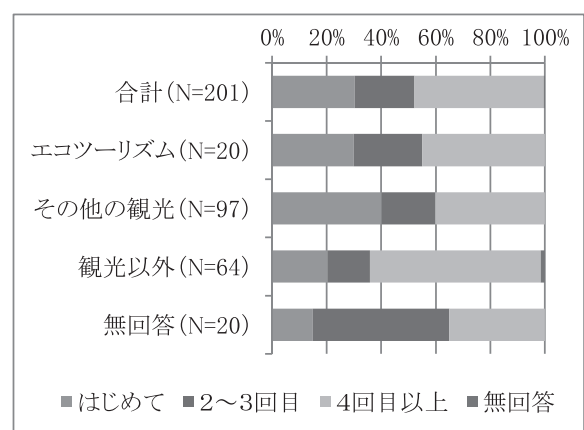


図 11 裏磐梯への来訪回数

7. 裏磐梯への旅行形態

裏磐梯への旅行形態については, 全体では, 「個人旅行」が 118 人で 59%, 「団体旅行」が 43 人

で21%,「旅行以外の目的で来た」が38人で19%,無回答が2人で1%である(図12)。

しかし,裏磐梯への旅行形態は,来訪目的によって異なっている。即ち,エコツーリズムとその他の観光では「個人旅行」がそれぞれ14人で70%,77人で79%であるのに対して,観光以外では「個人旅行」が18人で28%,「団体旅行」が19人で30%となっている。

ただし,この質問については,回答肢の一つに「旅行以外の目的で来た」を設けたため,例えばエコツーリズムを目的として裏磐梯を来訪した者であっても,これを選択した者などが見られる。今後は,その回答肢を削除するなど,アンケート調査票の見直しが必要である。

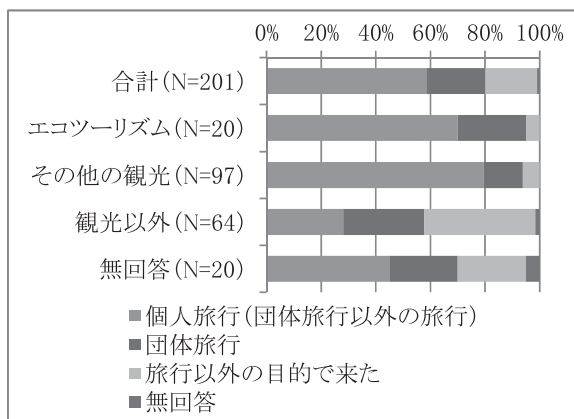


図12 裏磐梯への旅行形態

8. 同行者の種類

同行者の種類については,全体では,「家族」が108人で54%,「友人・知人」が48人で24%,学校の人などの「その他」が25人で12%,「自分だけ」が17人で8%,無回答が3人で1%である(図13)。

しかし,同行者の種類は,来訪目的によって異なっている。即ち,エコツーリズムとその他の観光では「家族」がそれぞれ13人で65%,64人で66%であるのに対して,観光以外では「家族」が25人で39%であるかわりに,「その他」が16人で25%となっている。

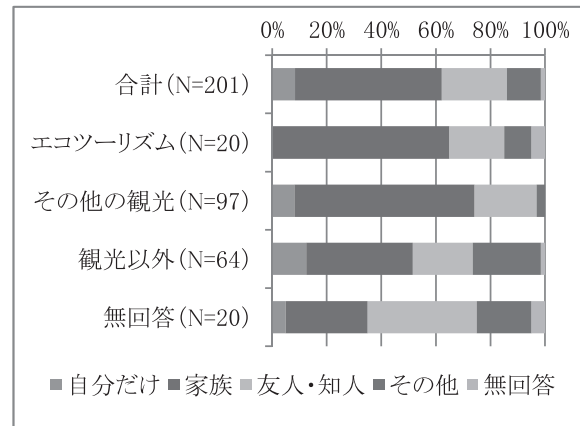


図13 同行者の種類

9. 同行者数

同行者数については,全体では,「2人」が69人で34%,「3~5人」が55人で27%,「10人以上」が39人で19%,「6~9人」が17人で8%,「1人」が16人で8%,無回答が5人で2%である(図14)。

しかし,同行者数は,来訪目的によって少し異なっている。即ち,エコツーリズムとその他の観光では「2人」がそれぞれ8人で40%,41人で42%であるのに対して,観光以外では「2人」が15人で23%であるかわりに,「10人以上」が19人で30%となっている。

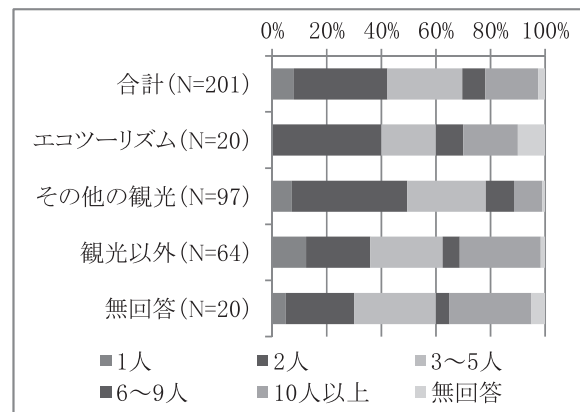


図14 同行者数

10. 裏磐梯への交通手段

裏磐梯への交通手段については,全体では,「自家用車」が118人で59%,「貸切バス」が44人で22%,レンタカー,電車,路線バスなどの「そ

の他」が36人で18%、無回答が3人で1%である（図15）。

しかし、裏磐梯への交通手段は、来訪目的によって異なっている。即ち、エコツーリズムとその他の観光では「自家用車」がそれぞれ14人で70%、66人で68%であるのに対して、観光以外では「自家用車」が31人で48%であるかわりに、「その他」が16人で25%となっている。

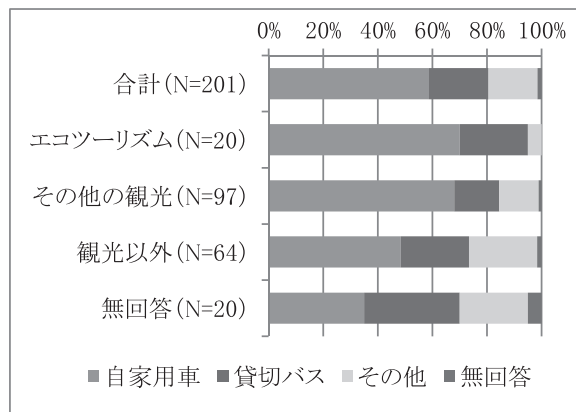


図15 裏磐梯への交通手段

11. 裏磐梯での宿泊の有無

裏磐梯での宿泊の有無については、全体では、「宿泊あり」が106人で53%、「宿泊なし」が92人で46%、無回答が3人で1%である（図16）。

しかし、裏磐梯での宿泊の有無は、来訪目的によって異なっている。即ち、エコツーリズムとその他の観光では「宿泊あり」がそれぞれ12人で

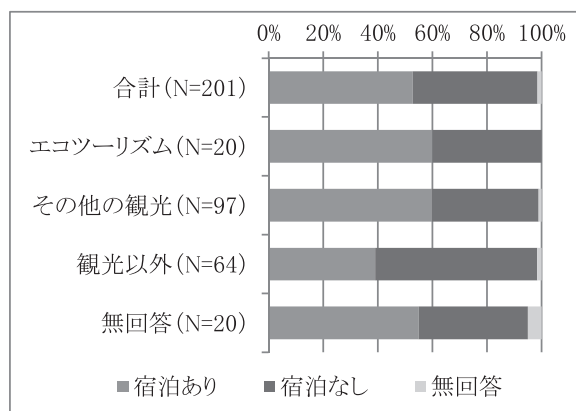


図16 裏磐梯での宿泊の有無

60%、58人で60%であるのに対して、観光以外では「宿泊あり」が25人で39%であるかわりに、「宿泊なし」が38人で59%となっている。

12. 裏磐梯に関する情報の入手方法

裏磐梯に関する情報の入手方法については、全体では、「インターネット」が55人で27%、「パンフレット・ガイドブック」が49人で24%、「友人・知人」が37人で18%である（図17）。

しかし、裏磐梯に関する情報の入手方法は、来訪目的によって異なっている。即ち、エコツーリズムとその他の観光では「インターネット」がそれぞれ8人で40%、34人で35%であるのに対して、観光以外では「パンフレット・ガイドブック」が17人で27%、「友人・知人」と「特になし」が15人で23%、「インターネット」が13人で20%、「家族」が12人で19%となっている。

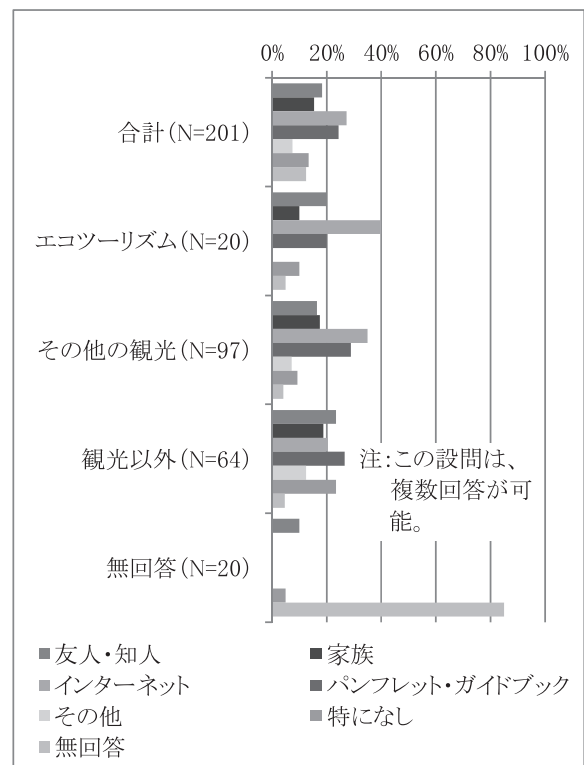


図17 裏磐梯に関する情報の入手方法

13. 裏磐梯での消費額

裏磐梯での消費額については、全体では、平均

でツアー代金が 4,359 円、宿泊費が 9,405 円、食事代が 1,815 円、お土産代が 1,624 円、交通費が 3,648 円、施設入場料や利用料などの観光活動費が 418 円、その他が 172 円であるが、それぞれの金額は来訪目的によって異なっている（表 4）。

ただし、これらの金額は、観光活動費が 1 億円という現実的には考えにくい回答などについては除外したものの、家族で来訪した回答者がそれぞれの項目に家族全員分の金額を記入したと推察される回答などについてはそのまま集計の対象とし、また、無記入の項目については、無回答と区別することなく、便宜的に 0 円とみなして算出した結果である。本来、消費額については、アンケート調査よりも聞き取り調査の方が正確に把握しやすいと思われるが、今後は、さしあり、こうした結果を踏まえてアンケート調査票の見直しを行いたいと考えている。

14. 裏磐梯の改善すべき点

裏磐梯の改善すべき点を聞いた質問に対しては、むしろ現在の環境の維持・保全を望む意見が多く見られるが、公共交通の利便性の向上、廃屋対策の推進、商業環境の充実、バリアフリー化の推進、トイレの改善などが複数の来訪者によって指摘されている（表 5）。

なお、これらの指摘に関して、来訪目的、年齢、性別などによる違いは特に見られない。

IV. 調査のまとめと今後の調査の方向性

1. 調査のまとめ

以上を通じで得られた主な知見は、以下の通りである。

①裏磐梯への来訪目的については、「観光」が 58%で、その内訳は「エコツーリズム」が 10%、「その他の観光」が 48%である。

表 4 裏磐梯での消費額

単位:円

		ツアー代金	宿泊費	食事代	お土産代	交通費	観光活動費	その他
合計 (N=201)	最高値	140,000	600,000	40,000	30,000	70,000	10,000	15,000
	平均値	4,359	9,405	1,815	1,624	3,648	418	172
	中央値	0	0	0	0	0	0	0
	最低値	0	0	0	0	0	0	0
エコツーリズム (N=20)	最大値	130,000	600,000	10,000	10,000	70,000	10,000	1,000
	平均値	7,800	37,575	2,355	1,650	7,099	875	105
	中央値	0	0	1,000	0	0	0	0
	最小値	0	0	0	0	0	0	0
その他の観光 (N=97)	最大値	140,000	80,000	40,000	30,000	45,000	10,000	15,000
	平均値	5,726	9,276	2,461	2,227	4,485	590	333
	中央値	0	0	0	0	0	0	0
	最小値	0	0	0	0	0	0	0
観光以外 (N=64)	最大値	50,000	1,000,000	5,000	5,000	20,000	1,500	0
	平均値	2,528	18,744	981	1,055	2,089	141	0
	中央値	0	0	0	0	0	0	0
	最小値	0	0	0	0	0	0	0
無回答 (N=20)	最大値	0	30,000	10,000	5,000	20,000	0	0
	平均値	0	1,500	750	550	1,050	0	0
	中央値	0	0	0	0	0	0	0
	最小値	0	0	0	0	0	0	0

注1: 無記入の項目については、便宜的に「0円」とみなして算出した。

注2: 観光活動費が「1億円」と記入した10代の来訪者の回答と、宿泊費が「100万円」と記入した別の10代の来訪者の回答については、裏磐梯の実態からは考えにくいとため、その他の項目に記入した金額も含めて除外した。

表5 裏磐梯の改善すべき点 (1/2)

来訪目的	年齢	性別	回収場所	裏磐梯の改善すべき点など
エコツーリズム	10代	女性	ビジター	とても広くてとてもきれいで、よか〜〜〜〜〜ったで〜〜〜〜す！
	80代以上	女性	ビジター	紅葉のときに又来たい
	40代	女性	サイト	裏磐梯サイトステーション(ここ)は気に入っていて2回目の訪問です。落ちつく場所で、展示もキレイです。
	60代	女性	サイト	自然を守っていくことは、とても大変だと思います。これからがんばって下さい。
	60代	女性	サイト	各コースのアクセスが悪いので地域で工夫して欲しい。
その他の観光	60代	女性	サイト	すばらしい自然です。
	10代未満	女性	ビジター	しぜんがたくさんあってとてもよいところだと思います。ビジターセンターでたくさん学べたのでうれしかった。
	10代未満	女性	ビジター	五色沼までボートをこいだ。水があおかった。オールがおもかった。
	10代未満	女性	サイト	このしぜんをいつまでものこしてください。
	10代	男性	サイト	虫が多い。害虫は駆除。
	10代	女性	サイト	今回さん歩をした所は特に自然を大切にしているのだなと思い、私も自然を大切にしようと思いました。
	10代	女性	サイト	自然がステキ！！
	20代	男性	ビジター	サイフをもってくればよかった。
	20代	男性	サイト	自然の豊かなところをもっとアピールしていけば人が来る。
	20代	女性	ビジター	とてもすてきな自然がいっぱいありました。すばらしいです。
	20代	女性	ビジター	すごく良い所でした。また来たいです。
	20代	女性	サイト	すごくきれいで素敵な人と場所に出会いました。
	20代	女性	サイト	サイクリングがもっとできたら手軽に楽しめると思います。(登山とかだけに限らず、もっと沼などをたくさん見て楽しみたいので)。
	30代	男性	ビジター	ガソリンが高い！
	30代	男性	ビジター	早朝にあいていない店が多い。8時ころからopenしてほしい。
	30代	女性	ビジター	自然がそのままで、良いと思いました。
	30代	女性	ビジター	とても良かったです。
	30代	女性	サイト	レンゲ沼には蚊は少なかったのですが、中瀬沼には多く(30匹くらい) 虫除け(腕時計タイプ)を販売、又はレンタルをしたらどうか？(すれ違った家族の子供が、Tシャツ短パンで、蚊に刺されて大変そうだった) 虫除け対策の告知(ポスター等)があると良いと思います(長所で、長ズボン又は虫よけスプレー等)。グルマップがあるのですが、夕食(PM6:00以降)の食べられる案内も願います。
	30代	女性	サイト	トイレがきれい、広い、高齢者、小さな子供にやさしく安全であることがどのエリア利用するのに一番大切だと思います。
	40代	男性	サイト	とても美しい所です。また来たいと思います。
	40代	女性	ビジター	五色沼を散策する前にビジターセンターに立ち寄りました。家族全員予備知識がなかったので、センターでいろいろ学ぶ事が出来、大変役に立ち、子供たちはクイズをしたり展示物を見たりしてとても楽しんでいました。
	40代	女性	ビジター	今日の天気予報コーナーがあるとよい。ビジターセンタースタッフのあたたかいコーナーがたくさんあってとてもよい。
	40代	女性	ビジター	磐梯エリアの勉強になりました。氷室体験出来ず残念でした。どうもありがとうございました。
	40代	女性	ビジター	雪見のお部屋に雪がなかった。ないなら、今は無いってかいといてください。
	40代	女性	ビジター	五色沼の所にトイレがないのは困る。土産物店にトイレの使用はしないでと看板があった。
	40代	女性	ビジター	Thank you very much.
	40代	女性	サイト	キャンプ場のトイレが1,000円有料と入口に書いてありました。
	40代	女性	サイト	壊れたところを早く修理して下さい。あとは特に思いつきませんでした。自然が豊かで、来てよかったです。
	40代	女性	サイト	バリアフリーのレンゲ沼が大好きでよくきます。子どもが足が不自由なので、自然にふれあえるところがすぐなくてさびしいです。もっとバリアフリーの道がふえてくれるとうれしいです。とりあえず、レンゲ沼の中にもう1ヶ所小さくてもよいからベンチをお願いします。(今あるのと別に、細い道に)あと、中瀬沼もきよりが短くてよいので、散歩コースにするのにはと中ベンチを2ヶ所ほどつくってほしいです。今のところイスを持参していますので、この施設をはじめて知りました。良い建物だと思います。
	50代	男性	ビジター	初めて来る人にはとてもわかりにくいです(場所・観光場所含め)。おみやげやさんの対応も不親切です。(ビジターセンターの一筆者注)隣のトイレの入り口もまよいやすいトイレも暗くて汚いです。とても良い場所なのにもったいないと思います。
	50代	女性	ビジター	静かな方ばかりで、もっと気軽に声を掛ける方が少なく、こちらから声を掛けるのを待っている様子。ステキな建物もあるので楽しみにして来ましたが、ちょっと残念な方が多く今夜の宿泊先は？
	50代	女性	ビジター	昔(30代のころ)はあまり樹木がおい茂ってなかったもので、景色が見わたせてとても良かった。(三湖パラダイスなどは、本当に三湖が見わたせてとてもすてきだったのに、今はあのときと違って2湖しか見えなかった。)少しでもいいから木を切って絶景のところは見わたせるようにしてほしいです。
	50代	女性	サイト	このビジターセンターの方へ。どうして「あいさつ」をしないのですか？ここへ来てあいさつ「こんにちわ」を聞いた事がありません。
	50代	女性	サイト	こんな良いところがあるのもっと宣伝してみんな来るようにしてほしい。とっても良いところですね。
	60代	男性	ビジター	各トレッキングの掲示板を判りやすく掲示して頂きたいと思います。
	60代	男性	サイト	廃店の処理(道路ぞい)。
	60代	男性	サイト	レンタサイクルを扱ってる店が少ない。サイクルロードももう少し整備してもらえると有難い。
	60代	女性	ビジター	五色沼の看板が小さく、木のかげで見えにくいです。
	60代	女性	ビジター	自然の素晴らしさに感動しました。浄土平、五色沼のトレッキング堪能しました。ビジターセンターの展示が工夫あって素晴らしかった。ダリ美術館も良かった。
	60代	女性	サイト	このまま自然を大切におちついた場所であってほしい。
	60代	女性	サイト	自然が良い、ゆつくり時間を過ごす為には、今のまま？
	60代	女性	サイト	見学する所が沢山あり、何事足を運んでも良い所だと思います。季節をかえまた来ようと思います。(茨城・水戸 60代夫婦)
	70代	男性	ビジター	もっと時間的に余裕をもって見学したいが、72才になりこれからは来れるか疑問です。住所は青森県八戸市。
	70代	男性	ビジター	特になし。このまま良好。
	70代	男性	サイト	公共機関の交通手段を望む。
	70代	男性	サイト	美しい所でもう一度来たいです。
	70代	女性	サイト	自然が良かった、さわやかな風。
	70代	女性	サイト	自然のままだいい。
	70代	女性	サイト	車で来ていないので、色々まわりたいのですが交通の便があまり良くないと思います。会津の町並みなどもみたいのでセットでバスでまわれると良いと思います。
	70代	女性	サイト	曾原湖1周したが、サイクロードと自動車道であつて、日かげ少なくて、湖もよくみえない。歩くコースがつかれないものか？

(次頁に続く)

表 5 裏磐梯の改善すべき点 (2/2)

来訪目的	年齢	性別	回収場所	裏磐梯の改善すべき点など
観光以外	10代未満	女性	ビジター	いつふんかするか、ふわんしいろ(あせり)。ふんかについてもっとくわしいたいしよほう。おきた時のこうどうはをくわしく話合った方がいいと思う。
	10代未満	女性	サイト	とても自然がゆたかでいいと思う。
	10代	男性	サイト	ゴミがおちている。もっときれいにすればいい。
	10代	女性	ビジター	熊の情報をまとめて見れる物があつたら良いと思います。
	10代	女性	ビジター	とりがたくさんいておもしろかった。
	10代	女性	ビジター	自然ゆたかなうらばんだいはこのままあるはもっとゆたかになるといいと思う。
	10代	女性	サイト	あぶらのういている池があり、子どもがキタナイといっていたのでそこをなおしてほしい。
	10代	女性	サイト	夏休みや夏はお客さんがくるように、自然とふれあう。たとえば、虫をつかまえて、観察したり、あまった木で、木工を作ったのしみのがいいと思う。ぜひ、それを使ってみてください！
	10代	女性	サイト	裏磐梯をもっと多くの人に、世界の人々に教えて多くの人に来てもらえるようにすれば良いと思った。
	20代	男性	ビジター	積極的なアピールを！
	20代	男性	ビジター	活気がない。バスが高い。
	20代	男性	ビジター	交通の便が悪いので、バスの本数を増やしてほしい。循環バス等。
	20代	女性	サイト	オシャレな店、食事おいしい店、きつ店等わかりやすくまとめたパンフが欲しい。温泉のアピールをするべきかと・・・せっかく温泉あるし。
	20代	女性	サイト	テーブルとイスがもっとあってもいいかもしれません。
	30代	女性	ビジター	火事でやけたあとの建物が残っているのが残念。
	40代	男性	ビジター	このセンターとてもおもしろかった！
	40代	男性	サイト	今のままの自然を変わりなく、残して欲しい。道は、キレイになってもできる限り自然をこわさずに美しい裏磐梯でいてほしい。
	50代	男性	ビジター	植生回復の映像とてもよくできていると思います。野草の写真もっと多く展示してほしい。
	50代	男性	サイト	せっかくきれいな湖があるのだから、そのそばにキッサ店がもっとほしい。
	50代	男性	サイト	10/6もスーパーカーのイベントをやる様ですが、セブンイレブンのパンプを見てはじめて知りました。イベント等を告知するサイトがあればうれしいです。
	50代	女性	サイト	会津に住んでいるのでよくちよく利用させて頂いています。景色が美しいので、利用しています。
	60代	女性	サイト	とても素晴らしいところです。今の自然を大切にすることでよいと思います。又、来たいと思います。
	60代	女性	サイト	自然が素晴らしい。これから、維持して下さい。
	60代	女性	サイト	トイレ和式が多い。シルバー世代でこの先何度も来るとしたら70才～80才代の人に合わせた方がいいのでは。
	70代	男性	サイト	公共の乗物を利用したら、行動ハニイがかざれるので、巡回バス等の利用がのぞましい。
	70代	男性	サイト	裏磐梯→「ウラ」イメージ的にマイナス。呼名を一考。中瀬沼案内図が出ているが、方向指導標が完備されると尚良いと思います。
	70代	女性	ビジター	公園施設等にゴミ箱(入れ)の設置してほしい。
	70代	女性	サイト	すばらしいところです。今回雪げしきの中のウォーク。ありがとうございました。又来ます。
無回答	40代	女性	サイト	レンゲ沼木道の改修について。身体の不自由な方でも散策が楽しめるので、これまで以前から利用してきました。昨年10月中旬に来た時も改修中で利用できず、1年経っても利用できず、とても残念です。誰でも裏磐梯の素晴らしさを楽しめる数少ない場所ですので、本当に残念です。

②来訪者の年齢は、全体では「60代」が21%、「10代」が15%、「40代」が13%で、「40代」以上の中高年齢層が60%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者は高齢層、その他の観光が目的の来訪者は中年層が多く、観光以外の目的の来訪者は年齢層が多様である。

③来訪者の性別については、全体では「男性」が39%、「女性」が60%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムとその他の観光が目的の来訪者は相対的に女性の割合が高く、観光以外の目的の来訪者は相対的に男性の割合が高い。

④来訪者の居住地については、全体では「関東地方」が48%、「福島県内」が33%で、両者の合計は82%であり、いずれの来訪目的についても、両者の合計が7～9割を占めていることに変わりはないが、エコツーリズムが目的の来訪者は5割

が「福島県内」、その他の観光が目的の来訪者は約5割が「関東地方」、観光以外が目的の来訪者は「福島県内」と「関東地方」が5割弱ずつである。

⑤裏磐梯への来訪回数については、全体では「4回目以上」のリピーターが47%、「はじめて」が30%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者は上記の割合とほぼ同様、その他の観光が目的の来訪者は「はじめて」と「4回目以上」が4割ずつ、観光以外が目的の来訪者は「4回目以上」が6割以上である。

⑥裏磐梯への旅行形態については、全体では「個人旅行」が59%、「団体旅行」が21%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者はとその他の観光が目的の来訪者は「個人旅行」が7～8割であるのに対して、観光以外が目的の来訪者は「個人旅行」と「団体旅行」がそれぞれ約3割である。ただし、この

質問項目については、回答肢の削除など、今後見直しが必要である。

⑦同行者の種類については、全体では「家族」が54%、「友人・知人」が24%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者とその他の観光が目的の来訪者は「家族」が65%程度であるのに対して、観光以外が目的の来訪者は「家族」が40%程度、「その他」が25%である。

⑧同行者数については、全体では「2人」が34%、「3～5人」が27%、「10人以上」が19%であるが、来訪目的によって少し異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者とその他の観光が目的の来訪者は「2人」が約4割であるのに対して、観光以外が目的の来訪者は「10人以上」が3割である。

⑨裏磐梯への交通手段については、全体では「自家用車」が59%、「貸切バス」が22%、レンタカー、電車、路線バスなどの「その他」が18%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者とその他の観光が目的の来訪者は「自家用車」が約7割であるのに対して、観光以外が目的の来訪者は「自家用車」が5割弱、「その他」が3割弱である。

⑩裏磐梯での宿泊の有無については、全体では「宿泊あり」が53%、「宿泊なし」が46%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者とその他の観光が目的の来訪者は「宿泊あり」が6割であるのに対して、観光以外が目的の来訪者は「宿泊なし」が約6割である。

⑪裏磐梯に関する情報の入手方法については、全体では「インターネット」が27%、「パンフレット・ガイドブック」が24%、「友人・知人」が18%であるが、来訪目的によって異なっており、エコツーリズムが目的の来訪者とその他の観光が目的の来訪者は「インターネット」が4割程度であるのに対して、観光以外が目的の来訪者は

「友人・知人」、「家族」、「インターネット」、「パンフレット・ガイドブック」がそれぞれ約2割である。

⑫裏磐梯での消費額については、全体では平均でツアー代金が4,359円、宿泊費が9,405円、食事代が1,815円、お土産代が1,624円、交通費が3,648円、施設入場料や利用料などの観光活動費が418円、その他が172円であるが、それぞれの金額は来訪目的によって異なっている。ただし、この質問項目については、回答方法を明確に示すなど、今後見直しが必要である。

⑬裏磐梯の改善すべき点については、公共交通の利便性の向上、廃屋対策の推進、商業環境の充実、バリアフリー化の推進、トイレの改善などが指摘されている。

2. 今後の調査の方向性

今後とも、裏磐梯の来訪者の特性を把握するための調査を継続する予定であるが、継続するにあたっては、以下のような方法上の改善を行いたいと考えている。

①裏磐梯への旅行形態と裏磐梯での消費額に関する質問については、一部、その意図とは異なる回答を得る結果となったので、上述したような調査票の見直しを行いたい。

②平成25年度には、本稿でその結果を示したアンケート調査とあわせ、筆者らが平成24年度から実施している裏磐梯におけるエコツーリズムに関する研究の一環として、エコツーリズムの参加者に対するヒアリング調査を実施した。しかし、エコツーリズムの参加者は、ツアー客が多いということもあり、数人からしか回答を得ることができなかった。このため、今後は、アンケート調査票にヒアリング調査の調査票を組み入れていきたい。

謝辞

本研究を実施するにあたり、裏磐梯ビジターセンターと裏磐梯サイトステーションのスタッフの方々、そして、裏磐梯エコガイドの会の事務局を務めている友坂豊さんに大変お世話になりました。末筆ながら、ここに記して感謝いたします。

補注

- (1)「観光入込客統計に関する共通基準」とは、都道府県における観光入込客に関する統計について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成することを目的として、観光庁が平成 21 年 12 月に策定したものである。この共通基準においては、基本的に、①非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること、②観光入込客数が適切に把握できる地点であること、③前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が 5 千人以上であることという 3 つの要件を全て満たすものを集計の対象地点等として取り扱うものとされている（行祭事・イベントについては②と③の要件を満たすものが集計の対象）。

引用文献

- 川崎興太（2012）高原リゾート観光地・裏磐梯の歴史と現状－裏磐梯に関する研究（その 1）－，日本建築学会東北支部研究報告集（計画系），75，51-54.
- 三部和哉・川崎興太（2013）裏磐梯地域でのエコツーリズム活動の現状と問題点－エコツーリズム関係者を対象とした意識調査に基づいて－，日本計画行政学会 第 36 回全国大会「ソーシャルイノベーションと地域創造」研究報告要旨集，209-212.